

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会

第5回事業最適化部会

日時：令和7年11月12日（水）13時30分から

場所：都庁第一本庁舎 15階 15F 会議室及びオンライン

議事次第

1 開会

2 審議事項

（1） 中間まとめについて

（2） 12月7日レインボーライド2025・マルチスポーツの視察
について

3 閉会

【第5回事業最適化部会】GRAND CYCLE TOKYOの事業最適化部会での中間まとめ

開催のあり方 都民支持

- THE ROAD RACE TOKYO・レインボーライド相乗効果の観点から、ロードレースの**周回コース**の設定や両大会の連携開催の可能性を検討
- 長距離の交通規制による**地元負担**について検討が必要
- ファミリー層から上級者まで、**多くの参加者が楽しめる自転車イベント**の展開

新たな価値創造 収入増

- GCT事業のブランディングとして、両大会を同時に推進するのは現時点では困難であることから、**レインボーライドを主体としたブランディングの推進**
- 海外連携の推進による**ブランド価値向上の好循環の可能性**（Bike NewYork、UCI等）
- スポンサー露出が少なく、**一層の工夫が必要**

費用対効果

- ロードレースの**周回コース**の活用やコースの固定化による**費用削減**を検討
- 安全対策費については、安全面を第一に考えたうえで引き続き経費を精査
- 両大会の**運営方法・費用の効率化**を検討

【第5回事業最適化部会】THE ROAD RACE TOKYO 2025の評価

大会への評価

- UCIからは、主催者、大会運営、安全性、観客数等を中心に**高い評価**
- 沿道観戦数、ネット観戦者数等については、国内外の大会と比較しても**トップクラスの数字**
- 来場者、ボランティア、SNSでの評価は**肯定的**
- これだけの大規模な大会を東京で開催することは素晴らしく、**安全面においては世界でも稀なレース**
- フィニッシュ会場や青梅周回コース上を中心とした盛り上がりなどを見ても、スポンサー獲得含め**ポテンシャルのある大会**
- 前回大会の反省を踏まえ、関係者説明、広報活動を強化したが、**住民からの多くの問い合わせ・苦情**
- 車移動が多い**多摩エリアでの大規模な交通規制は、住民生活や交通事業者の営業活動に多大な影響**
- 多摩エリアでの大規模交通規制は、緊急車両横断の件数が増えると対応の遅れにつながりかねないリスクがある
- ワンウェイコースは、国内大会を見ても大変貴重ではあるが、**コスト面、地域へのメリット、スポンサー露出の側面から見てもあまり効果が大きいとは言えない**



THE ROAD RACE TOKYOについては、GCT事業全体として考える必要があることから、本部会でのレインボーライドの視察結果等も踏まえ、引き続き検討

【第5回事業最適化部会】12月7日レインボーライド2025・マルチスポーツの視察について

主な視察項目

ポイント① 開催のあり方について

- イベント開催による地域へのメリット及び負担
(道路混雑状況、横断ポイント混雑状況 等)
- フィニッシュエリア（NOP区画、プロムナード公園周辺）におけるイベントの状況
(沿道応援、スポンサー・自治体PRブース、キッチンカー、ライドとイベントの連携 等)
- ボランティアの活動状況
参考：ボランティア500人程度（マラソン財団、VLN、都障協）
- マルチスポーツの状況
(コンテンツ内容、参加者の様子、来場者数、盛り上がり 等)

ポイント② 収入増・新たな価値創造について

- 会場装飾の状況
(大会ロゴ・ルックの掲出、造作物（ステージ、のぼり、フェンス等）、会場の雰囲気 等)
- スポンサーとの連携
(スポンサーロゴの掲出、スポンサーPRブース、物品提供、VIP対応 等)
- 映像配信
(MXTVによる生中継、YouTube配信 等)

ポイント③ 費用対効果について

- 安全対策に係る資機材・スタッフの配置状況
(カラーコーン・鉄柵や警備員等の配置、交通誘導 等)

【第5回事業最適化部会】今後の予定

令和7年12月7日 第6回 レインボーライドの視察

(事務局にて大会関係者ヒアリングを実施)

令和8年1月 第7回 レインボーライドの視察結果の共有

大会関係者ヒアリングの結果の共有、改善項目検討

2月 第8回 GCT実行委員会への提案内容まとめ（最終まとめ）

※開催月及び検討項目については予定